
『夢零』

天斗海 草月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『夢雲』

【Nコード】

N2709L

【作者名】

天斗海 草月

【あらすじ】

無機物はいつたい何を考えているのか。
何も考えてないかもしれない。
何か考えてるかもしれない。

脳はない、心もない、けど、なにかある。

風が通り、風鈴が鳴る。

音は宙を舞う。

流れ落ちた音。

風は止み、風鈴は揺れる。

流れ出た音は地面を濡らす。

地面はいつたい何を語るうか。

「否」

語らない。

地面は語らない。

それが道理であった。

しかし、常識の壁はあまりにも脆い物。

偽りの妄想で朽ち。

逃避の槌で崩れ去る。

「逃げる」

悪いことでは無い。

しかし、それと同時に。

良いことでも無い。

現実から逃げてみる。

それは、唯の選択肢にしかないけど。

もしもその選択肢で、自分の運命が変わるとすれば。

いったい私は、どうするだろうか。

この身体に宿るのは御魂。

それではいったい。

御魂に宿るのはいったい何か。

喜び。

怒り。

哀しみ。

楽しい。

喜、怒、哀、楽。

そう、感情である。

感情とは、真偽の塊であろう。

真の感情なのか。

偽りの感情なのか。

その答え、自分だけが知っている。

嗚呼、人の一生はなんて短いんだ。

そう思う時はないか??

私は沢山あった。

いっそ、人じゃなければ良かったのに。

風に為りたい。

木に為りたい。

大地に為りたい。

雲に為りたい。

空に為りたい。

太陽に為りたい。

星に為りたい。

宇宙に為りたい。

どうせ私は人間。

人間にしか成れない。

でも、何か別の何かに為れるなら。

為ってみたい。

為ってみせる。

為る。

それが、私の今の夢。

叶う、叶わない。

じゃなくて。

ひとつの夢。

持ってるだけは、罪じゃないから。

だから。

だから、夢を持ってみた。

(後書き)

これってエッセイっていつの???
ジャンルがようわからぬ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2709/>

『夢零』

2010年10月28日06時47分発行